

事業計画書

■当初 □最終

| | |
|--------|-------------|
| 作成年月日 | 2019年10月21日 |
| 法人名 | 株式会社みことり |
| 代表者職名前 | 中間 亜希 |
| 担当者名 | 連絡先 |

1 協議事項

| 協議の種類 | 計画の概要 | 本計画書に記載が必要な項目 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---------------------------------|---------------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 協議の種類 | ■ 新規事業所の開設 (事業所の移転) (大幅な事業内容変更) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | □ 事業の追加 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | □ 定員の変更 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | □ 建物の構造・設備の変更 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

2 事業実施に係る動機

| |
|------|
| 別紙参照 |
|------|

3 提供サービス

| 種別 | ① | ② | ③ | 売上シェア | % | 提供日 |
|---------|--|---|---|-------|---|-----|
| 理念 | 障がい児が子どもらしく様々な体験を通して心身共に成長発達をし、また地域とのつながりをもつことで安心して社会生活が送れる。そして、事業を通じ保護者にレスパイトの時間を提供することで保護者自身の生活を豊かにする。 | | | | | |
| 目標 | 身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な支援・療育を行う。また安心して社会生活を送ることができるよう、地域との結び付きを重視し関係機関との密接な連携に努める。 | | | | | |
| 同種のサービス | 児童発達支援、放課後等デイサービス、日中一時支援 | | | | | |

4 施設の概要【平面図は裏面のとおりに】

| 施設概要 | 土地 | 建物 | 事業概要 | 内容 |
|------|---|--------------------|----------|--|
| 所在地 | 福山市内海町口1694番地1 | 用途区域 | 市街化調整区域外 | 意見 |
| 所有者 | 株式会社 みことり | 用途区域 | 市街化調整区域外 | |
| 名称 | umineco | 用途区域 | 市街化調整区域外 | |
| 所有者 | 株式会社 みことり | 用途区域 | 市街化調整区域外 | |
| 用途 | 多機能型事業所(重症心身障害) | 用途区域 | 市街化調整区域外 | |
| 階層 | 1 地上 1階 地下 0階 | 用途区域 | 市街化調整区域外 | |
| 建築面積 | 90.81 m ² | 用途区域 | 市街化調整区域外 | |
| ① | 種別 | 児童発達支援(重症心身障害) | 意見 | ○建築基準法上の手続きは不要だが、基準に適合した計画とすること。 ○消防用設備として、誘導灯を設置すること。また、カーテン、絨毯等には防炎物品を使用すること。 ○建物の使用に際しては、防火対象物使用開始届出書を提出すること。 |
| | 手続 | 新規 | | |
| | 使用する階 | 1階 | | |
| ② | 種別 | 放課後等デイサービス(重症心身障害) | | |
| | 手続 | 新規 | | |
| | 使用する階 | 1階 | | |
| ③ | 種別 | 日中一時支援 | | |
| | 手続 | 新規 | | |
| | 使用する階 | 1階 | | |
| 申請種別 | □ 新築 □ 増築 □ 用途変更 ■ その他 | | | |
| 内容 | 現在ある建物を改築し、重症心身障害の多機能型事業所(①+②)定員5名/日と③)を行う。 | | | |

5 主要取引先

| 上段:取引先 下段:所在地 | 割合 | 掛取引 | 回収・支払の条件 | 意見 |
|------------------|----|-----|----------|----|
| | % | % | 日 〆 日回収 | |
| | % | % | 日 〆 日回収 | |
| | % | % | 日 〆 日回収 | |

6 従業員

| 職種 | 雇用形態 | 名前 | 年齢 | 月給 | 意見 |
|----------|---------|--------|------|--------|---|
| 管理者 | ■ 常 | | | 万円 | ○ボーナスについて、収支計画書によると、初年度7月分は未支給、次年度12月分は1月に支給となっているが、間違いないか。 ○機能訓練を担当する職員は理学療法士、作業療法士等の資格を有する者か。 ○人員配置基準(最低基準)は満たしているが、さらに充実した配置が可能となるよう採用計画を検討すること。 |
| 機能訓練担当職員 | ■ 常 □ 非 | | | 万円 | |
| 看護職員 | ■ 常 □ 非 | | | 万円 | |
| 児童指導員 | □ 常 ■ 非 | | | 万円 | |
| 児童指導員 | □ 常 ■ 非 | 児童指導員A | | 万円 | |
| 指導員 | □ 常 ■ 非 | | | 万円 | |
| 運転手 | □ 常 ■ 非 | 運転手A | | 万円 | |
| 運転手 | □ 常 ■ 非 | 運転手B | | 万円 | |
| 嘱託医 | □ 常 ■ 非 | | | 万円 | |
| 人件費 | 末日 〆 | 25日支払 | ボーナス | 7月 12月 | |

7 借入金の状況

| 金融機関 | 理由 | 借入残高 | 年間返済額 | 意見 |
|----------|-----------------|------------|----------|----------------------------------|
| 日本政策金融公庫 | 土地・建物取得資金、改装資金等 | 1 5 0 0 万円 | 1 0 8 万円 | ○2年目は法人税等を勘案するとCFがマイナスになる可能性がある。 |
| | 運転資金 | 5 0 0 万円 | 7 2 万円 | |
| | | 万円 | 万円 | |

8 必要な資金と調達方法

| 必要な資金 | 金額 | 調達方法 | 金額 | 意見 |
|-------|----------|------|----------|---|
| 土地 | 400 万円 | 補助金 | 万円 | ○利用見込み者を事業ごとにリスト化すること。 ○事業承継によらない新規利用者を見込んでいる場合は、送迎対応エリア内の需要、利用者確保の方策を記載すること。 【収支計画書】 ○空欄となっている「法人税等」の額を記載し、より正確なCFを算出・把握すること。 ○内容が不透明な「雑費」の支出に占める割合が大きいため、他費目への振替等によりこれを減少させること。 |
| 建物改修 | 800 万円 | 自己資金 | 500 万円 | |
| 設備 | 300 万円 | 借入金 | 2,000 万円 | |
| 車両 | 万円 | | | |
| その他 | 万円 | | | |
| 運転資金 | 1,000 万円 | | | |
| 合計 | 2,500 万円 | 合計 | 2,500 万円 | |

9 事業の見通し

| | 1月目 | 2月目 | 3月目 | 1年後 | 意見 |
|-------------------|----------|----------|--------|--------|--|
| 利用者見込 A | 5 人 | 5 人 | 5 人 | 5 人 | ○空欄となっている「法人税等」の額を記載し、より正確なCFを算出・把握すること。 ○内容が不透明な「雑費」の支出に占める割合が大きいため、他費目への振替等によりこれを減少させること。 |
| 月平均利用額 ※1 (1人当たり) | 37 万円 | 40 万円 | 40 万円 | 43 万円 | |
| 給付費 ※2 | 0 万円 | 0 万円 | 183 万円 | 200 万円 | |
| 収入 ※3 | 0 万円 | 0 万円 | 0 万円 | 0 万円 | |
| 収入計 ① | 0 万円 | 0 万円 | 183 万円 | 200 万円 | |
| 人件費 | 81 万円 | 85 万円 | 86 万円 | 117 万円 | |
| 旅費・交通費 | 1 万円 | 1 万円 | 1 万円 | 1 万円 | |
| 賃借料 | 3 万円 | 3 万円 | 3 万円 | 3 万円 | |
| 通信費 | 1 万円 | 1 万円 | 1 万円 | 1 万円 | |
| 諸経費 ※4 | 47 万円 | 47 万円 | 47 万円 | 47 万円 | |
| 支払元金利息 | 3 万円 | 3 万円 | 3 万円 | 3 万円 | |
| 支出計 ② | 136 万円 | 140 万円 | 141 万円 | 172 万円 | |
| 収支 ①-② | △ 136 万円 | △ 140 万円 | 42 万円 | 28 万円 | |
| 収入 B | 万円 | 万円 | 万円 | 万円 | |
| 売上高 ※3 | 万円 | 万円 | 万円 | 万円 | |
| 支出 C | 万円 | 万円 | 万円 | 万円 | |
| 利用者賃金 | 万円 | 万円 | 万円 | 万円 | |
| 必要経費 | 万円 | 万円 | 万円 | 万円 | |
| 最賃確保状況(A型) | 円 | 円 | 円 | 円 | |

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること

児童発達支援 : 基本報酬(児童発達支援給付費)

放課後等デイサービス : 基本報酬(放課後等デイサービス給付費)

日中一時支援 : 支給額(日中生活支援事業給付費)

※2 給付費は、サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先

| 上段:受注先 下段:所在地 | 1月当たりの受注額 | 契約書の有無 | 回収・支払いの条件 |
|------------------|-----------|-----------|-----------|
| | 万円 | □ あり □ なし | |

※3 主な事業所内生産品

| 生産品 | 1時間単価 | 計算式 | 1月当たりの生産額 |
|-----|-------|-----|------------|
| | 円 × | H × | 日 × 人 = 万円 |
| | 円 × | H × | 日 × 人 = 万円 |

※4 諸経費:消耗品、光熱水費、車両管理費、研修費、宣伝広告費、租税公課、社会保険料、レンタル料等

様式第2号-1

| | |
|-----------|---|
| 受理 | 10月21日 |
| 関係者への意見聴取 | <input checked="" type="checkbox"/> 市 建築指導課 <input checked="" type="checkbox"/> 消防局予防課 <input checked="" type="checkbox"/> 中小企業診断協会 <input checked="" type="checkbox"/> 関係団体 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| 回答 | 11月13日 |

10 付近図

| | |
|---|---|
| 小学校区 内海 人口 01884 人 事業所数 0 事業所利用定員 0 人 | 意見 |
| 付近図添付省略 | 凡例 ○ … 事業所 × … 同種の事業所 △ … 一次避難先 □ … 二次避難先 |

11 平面図

| | |
|---------|---|
| 別紙平面図参照 | 意見 |
| | ○医療的ケア児、重心児に対してどんな設備を準備するのか具体的に記載すること。 ○事務所と相談室は独立していることが望ましいため、パーテーション等で区切る。また、相談しやすようプライバシー保護のための配慮を行うこと。 ○トイレがバリアフリーになっていないのではないか。車いす対応可能か。 ○ベッドの配置場所や配置数を記載すること。 ○保育スペースはどこを想定しているか記載すること。 ○手洗い場が少ない。医療的ケア児が対象ならば複数個所必要であると思われる。 ○おむつ交換をするためのスペースはどこを想定しているか記載すること。 |

12 事業計画

| | |
|--|--|
| 事業は、障がい児が子どもらしく様々な体験を通して心身共に成長発達をし、また地域とのつながりをもつことで安心して社会生活が送れる。そして、事業を通じ保護者にレスパイトの時間を提供することで保護者自身の生活を豊かにすることを目的とする。 重症心身障害児を対象とした多機能型事業所(児童発達支援・放課後等デイサービス(定員5名))と日中一時支援を行う。 【サービス提供時間(営業時間:月曜から金曜10:00-18:00)】 児童発達支援 :10:00-14:00 放課後等デイサービス:15:30-17:30 (授業終了後) 10:00-16:00 (休業日) 日中一時支援 :14:00-18:00 | 意見 |
| | ○どのような基本方針や療育目標を持って事業を実施するのか。それぞれの事業について記載すること。 ○地域とのつながりをもつとの記載があるが、若草園等との連携はどのように考えているか。 ○重心児の支援において、親子療育の必要性は高いと思われる。レスパイトに加え、親子療育の保障、保護者支援をどのように考えているか。支援内容や頻度等を具体的に記載すること。 ○重心事業所では、個別支援計画の作成に当たり、相談支援事業所との緊密な連携が特に重要になるが、相談支援事業所との連携についてどのように考えているか。 ○職員には高い専門性が求められる。質を向上させるための研修計画の考え方を記載すること。 |

13 利用者処遇

| | |
|--|---|
| 事業所で行う事業の内容は次のとおりである。 (1)個別支援計画の作成 (2)基本事業 (日常生活訓練、創作的活動、医療的ケア、介護、機能訓練、相談、指導) (3)入浴サービス (4)食事サービス (5)送迎サービス | 意見 |
| | ○日常生活訓練、機能訓練などの基本事業とされているものの内容を具体的に記載すること。 ○食事サービスについて、平面図では調理室は確認できないが、どのような提供体制を予定しているのか記載すること。 ○利用者の体調急変等に備えた緊急時医療機関を想定しているか。 ○放課後等デイサービスの利用児の送迎は、主に内海町～福山特別支援学校が想定される。乗車時間が40分以上と長時間となるが、どのような送迎車両を準備しているのか。また、添乗する職員についてはどのように考えているか。 ○医療的ケア児を送迎する場合、看護職員が添乗することが望ましいが、添乗した場合、事業所内に看護職員が不在になるのではないか。看護師不在時の医療連携体制はどのように考えているか。 |

14 防災計画

| | |
|--|--|
| 事業所の災害マニュアルに基づき定期的な研修および避難訓練等を実施する。 【事業所の該当区域】 福山市土砂災害ハザードマップ:土石流危険溪流該当 福山市津波ハザードマップ:0.3-1.0m未満浸水想定区域 | 意見 |
| | ○5名の児童が在所した場合、4名の職員体制でどのような避難方法を想定しているのか。 ○津波や大雨等の災害を想定した避難手段や避難経路について、どのように考えているか。 |

15 一日の流れ

| | |
|---|---|
| 09時00分～09時00分 迎え 10時00分～11時30分 活動(児童発達支援) 11時30分～13時00分 昼食 13時00分～14時00分 入浴、休憩、終わりの会 14時00分～15時30分 送り(児童発達支援)、迎え(放課後等デイサービス) 15時30分～17時30分 活動(放課後等デイサービス) 17時30分～19時00分 振り返り、送り(放課後等デイサービス) | 意見 |
| | ○日課の流れを活動ごとに具体的に記載すること。 (児童発達支援) ○午睡の時間を設けていないが必要なのではないか。 ○食後の入浴は子どもに負担にならないか。また、13時以降のスケジュールがタイトになっていて、入浴する場合、14時の降所は難しいのではないか。 |

事業計画書

□当初 ■最終

作成年月日 2019年12月05日

| | |
|--------|----------|
| 法人名 | 株式会社みことり |
| 代表者職名前 | 中間 亜希 |
| 担当者名 | 連絡先 |

様式第2号-2

1 協議事項

| 協議の種類 | 計画の概要 | 本計画に記載が必要な項目 | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-------------|--------------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| ■ 新規事業所の開設 (事業所の移転) (大幅な事業内容変更) □ 事業の追加 | □ 共生型サービス | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | □ 共生型サービス以外 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | □ 新築予定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | □ 賃借 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ■ 多機能型サービス | □ 新築予定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | □ 賃借 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ■ 現在地 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | □ 新築予定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| □ 定員の変更 | □ 施設整備を伴う | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | □ 施設整備を伴わない | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| □ 建物の構造・設備の変更 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

2 事業実施に係る動機

別紙参照

3 提供サービス

| 種別 | ① | ② | ③ | 売上シェア | % | 提供日 |
|---------|--|---|---|-------|---|---------------|
| | | | | 売上シェア | % | 月 火 水 木 金 土 日 |
| 理念 | 障がい児が子どもらしく様々な体験を通して心身共に成長発達をし、また地域とのつながりをもつことで安心して社会生活が送れる。そして、事業を通じ保護者にレスパイトの時間を提供することで保護者自身の生活を豊かにする。 | | | | | |
| 目標 | 身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な支援・療育を行う。また安心して社会生活を送ることができるよう、地域との結び付きを重視し関係機関との密接な連携に努める。 | | | | | |
| 同種のサービス | 児童発達支援、放課後等デイサービス、日中一時支援 | | | | | |

4 施設の概要【平面図は裏面のとおりに】

| 施設概要 | 土地 | 建物 | 事業概要 | 内容 | 主な修正点 |
|------|---|--------------------|----------------------|------------------------------|-------|
| 所在地 | 福山市内海町口1694番地1 | 用途区域 | 市街化調整区域外 | | 別紙参照 |
| 所有者 | 株式会社 みことり | 抵当権 | ■ あり | | |
| 名称 | umineco | | | | |
| 所有者 | 株式会社 みことり | 抵当権 | ■ あり | | |
| 用途 | 多機能型事業所(重症心身障害) | 構造 | 木造スレート葺平屋建 | | |
| 階層 | 1 地上 1階 地下 0階 | 建築年 | 1989 年 | | |
| 建築面積 | 90.81 m ² | 延面積 | 90.81 m ² | | |
| ① | 種別 | 児童発達支援(重症心身障害) | | | |
| | 手続 | 新規 | 使用する階 | 1階 専有面積 90.81 m ² | |
| | 収容人員 | 0 9人 内訳 | 職員 0 4人 | 利用者 0 5人 | |
| ② | 種別 | 放課後等デイサービス(重症心身障害) | | | |
| | 手続 | 新規 | 使用する階 | 1階 専有面積 90.81 m ² | |
| | 収容人員 | 0 9人 内訳 | 職員 0 4人 | 利用者 0 5人 | |
| ③ | 種別 | 日中一時支援 | | | |
| | 手続 | 新規 | 使用する階 | 1階 専有面積 11.59 m ² | |
| | 収容人員 | 0 5人 内訳 | 職員 0 1人 | 利用者 0 4人 | |
| 申請種別 | □ 新築 □ 増築 □ 用途変更 ■ その他 | | | | |
| 内容 | 現在ある建物を改築し、重症心身障害の多機能型事業所(①+②)定員5名/日と③)を行う。 | | | | |

5 主要取引先

| 上段:取引先 下段:所在地 | 割合 | 掛取引 | 回収・支払の条件 | 主な修正点 |
|------------------|----|-----|----------|-------|
| | % | % | 日 〆 日回収 | |
| | % | % | 日 〆 日回収 | |
| | % | % | 日 〆 日回収 | |

6 従業員

| 職種 | 雇用形態 | 名前 | 年齢 | 月給 | 主な修正点 |
|-----------|--------------|------|--------|----|-------|
| 管理者 | ■ 常 | | | 万円 | 別紙参照 |
| 児童発達支援責任者 | ■ 常 □ 非 | | | 万円 | |
| 機能訓練担当職員 | ■ 常 □ 非 | | | 万円 | |
| 看護職員 | ■ 常 □ 非 | | | 万円 | |
| 児童指導員 | □ 常 ■ 非 | | | 万円 | |
| 指導員 | □ 常 ■ 非 | | | 万円 | |
| 指導員 | □ 常 ■ 非 | | | 万円 | |
| 運転手 | □ 常 ■ 非 | | | 万円 | |
| 嘱託医 | □ 常 ■ 非 | | | 万円 | |
| 人件費 | 10日 〆 25日 支払 | ボーナス | 7月 12月 | 万円 | |

12月24日受付
(受付印省略)

7 借入金の状況

| 金融機関 | 理由 | 借入残高 | 年間返済額 | 主な修正点 |
|----------|-----------------|------------|----------|-------|
| 日本政策金融公庫 | 土地・建物取得資金、改装資金等 | 1 5 0 0 万円 | 1 0 8 万円 | 別紙参照 |
| | 運転資金 | 5 0 0 万円 | 7 2 万円 | |
| | | 万円 | 万円 | |

8 必要な資金と調達方法

| 必要な資金 | 金額 | 調達方法 | 金額 | 主な修正点 |
|-------|----------|------|----------|-------|
| 土地 | 400 万円 | 補助金 | 万円 | 別紙参照 |
| 建物改修 | 800 万円 | 自己資金 | 500 万円 | |
| 設備 | 300 万円 | 借入金 | 2,000 万円 | |
| 車両 | 万円 | | | |
| その他 | 万円 | | | |
| 運転資金 | 1,000 万円 | | | |
| 合計 | 2,500 万円 | 合計 | 2,500 万円 | |

9 事業の見通し

| | 1月目 | 2月目 | 3月目 | 1年後 | 主な修正点 |
|-------------------|----------|----------|--------|--------|-------|
| 利用者見込 A | 5 人 | 5 人 | 5 人 | 5 人 | 別紙参照 |
| 月平均利用額 ※1 (1人当たり) | 37 万円 | 40 万円 | 40 万円 | 43 万円 | |
| 収入 給付費 ※2 | 0 万円 | 0 万円 | 183 万円 | 200 万円 | |
| 収入 その他 | 0 万円 | 0 万円 | 0 万円 | 0 万円 | |
| 収入計 ① | 0 万円 | 0 万円 | 183 万円 | 200 万円 | |
| 支出 人件費 | 81 万円 | 85 万円 | 86 万円 | 117 万円 | |
| 支出 旅費・交通費 | 1 万円 | 1 万円 | 1 万円 | 1 万円 | |
| 支出 賃借料 | 3 万円 | 3 万円 | 3 万円 | 3 万円 | |
| 支出 通信費 | 1 万円 | 1 万円 | 1 万円 | 1 万円 | |
| 支出 諸経費 ※4 | 47 万円 | 47 万円 | 47 万円 | 47 万円 | |
| 支出 支払元金利息 | 3 万円 | 3 万円 | 3 万円 | 3 万円 | |
| 支出計 ② | 136 万円 | 140 万円 | 141 万円 | 172 万円 | |
| 収支 ①-② | △ 136 万円 | △ 140 万円 | 42 万円 | 28 万円 | |
| 生産活動 収入 B | 万円 | 万円 | 万円 | 万円 | |
| 売上高 ※3 | 万円 | 万円 | 万円 | 万円 | |
| 支出 C | 万円 | 万円 | 万円 | 万円 | |
| 利用者賃金 | 万円 | 万円 | 万円 | 万円 | |
| 必要経費 | 万円 | 万円 | 万円 | 万円 | |
| 最賃確保状況(A型) | 円 | 円 | 円 | 円 | |

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること

児童発達支援 : 基本報酬(児童発達支援給付費)

放課後等デイサービス : 基本報酬(放課後等デイサービス給付費)

日中一時支援 : 支給額(日中生活支援事業給付費)

※2 給付費は、サービス提供月の翌月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先

| 上段:受注先 下段:所在地 | 1月当たりの受注額 | 契約書の有無 | 回収・支払いの条件 |
|------------------|-----------|-----------|-----------|
| | 万円 | □ あり □ なし | |

※3 主な事業所内生産品

| 生産品 | 1時間単価 | 計算式 | 1月当たりの生産額 |
|-----|-------|-------------|-----------|
| | 円 × | H × 日 × 人 = | 万円 |
| | 円 × | H × 日 × 人 = | 万円 |

※4 諸経費:消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等

10 付近図

| | |
|---|---|
| 小学校区 内海 人口 01884 人 事業所数 0 事業所 利用定員 0 人 | 主な修正点 |
| 付近図添付省略 | 凡例 ○ … 事業所 × … 同種の事業所 △ … 一次避難先 □ … 二次避難先 |

11 平面図

| | |
|---------|-------|
| 別紙平面図参照 | 主な修正点 |
| | 別紙参照 |

12 事業計画

| | |
|---|-------|
| 事業は、障がい児が子どもらしく様々な体験を通して心身共に成長発達をし、また地域とのつながりをもつことで安心して社会生活が送れる。そして、事業を通じ保護者にレスパイトの時間を提供することで保護者自身の生活を豊かにすることを目的とする。 重症心身障害児を対象とした多機能型事業所(児童発達支援・放課後等デイサービス(定員5名))と日中一時支援を行う。 【サービス提供時間(営業時間:月曜から金曜10:00-18:00)】 児童発達支援 :10:00-14:00 放課後等デイサービス:15:30-17:30 (授業終了後) 10:00-16:00 (休業日) 日中一時支援 :14:00-18:00 | 主な修正点 |
| 別紙参照 | 別紙参照 |

13 利用者処遇

| | |
|---|-------|
| 事業所で行う事業の内容は次のとおりである。 (1)個別支援計画の作成 (2)基本事業 日常生活訓練(日常生活動作、音楽活動等) 創作的活動(絵画、工作、園芸等) 医療的ケア(経管栄養注入、喀痰吸引等) 介護(更衣、食事介助、排泄等の身体介助) 機能訓練(身体機能訓練、日常生活動作訓練、介護指導等) 相談(医療、福祉、生活の相談等) 指導(家族等に対する介護技術指導等) (3)入浴サービス (4)食事サービス (5)送迎サービス | 主な修正点 |
| 別紙参照 | 別紙参照 |

14 防災計画

| | |
|--|-------|
| 事業所の災害マニュアルに基づき定期的な研修および避難訓練等を実施する。 【事業所の該当区域】 福山市土砂災害ハザードマップ:土石流危険渓流該当 福山市津波ハザードマップ:0.3-1.0m未満浸水想定区域 | 主な修正点 |
| 別紙参照 | 別紙参照 |

15 一日の流れ

| | |
|---|-------|
| 09時00分 ~ 〇時〇〇分 迎え | 主な修正点 |
| 10時00分 ~ 11時30分 活動(児童発達支援) | 別紙参照 |
| 11時30分 ~ 13時45分 昼食、入浴/午睡 | 別紙参照 |
| 13時45分 ~ 14時00分 終わりの会 | 別紙参照 |
| 14時00分 ~ 15時30分 送り(児童発達支援)、迎え(放課後等デイサービス) | 別紙参照 |
| 15時30分 ~ 17時30分 活動(放課後等デイサービス) | 別紙参照 |
| 17時30分 ~ 19時00分 振り返り、送り(放課後等デイサービス) | 別紙参照 |